

あなたと議会の情報ネットワーク

あおぞら21



創造的復興に向けて第6期総合計画を可決! (12月会議) … 2
人にやさしいまちづくりを進めるには(一般質問) … 8

表紙：新成人をお祝いするイベント「はたち日和」(1月12日：街なかギャラリー)

12月定例会

令和2年1月31日

No.148

熊本・みふね町議会

創造的復興に向けて第6期総合計画を可決！

12月会議を12月12日から18日まで開催した。報告2件、条例等の改正11件、補正予算7件、人事案件2件、その他4件の議案26件を審議採決した。

また、一般質問には8人が登壇した。

12月議会で決まったこと

議案 号数	簡易議案名	概 要	質疑・討論 の有無	採決 結果
報告 18	専決処分の報告について	町道向山小迫谷線①道路災害復旧工事 の変更契約	無	報告
報告 19	専決処分の報告について	高木⑧地区宅地耐震化推進滑動崩落対 策施設（拡充）工事の変更契約	無	報告
議案 42	御船町一般職の職員の給与に関す る条例等の一部を改正する条例の 制定について	人事院勧告に基づく一部改正	無	全会一致で 可決
議案 43	御船町長等の給与及び旅費に関す る条例の一部を改正する条例の制 定について	人事院勧告に基づく一部改正	無	全会一致で 可決
議案 44	御船町議会の議員の報酬及び費用 弁償に関する条例の一部を改正す る条例の制定について	人事院勧告に基づく一部改正	無	全会一致で 可決
議案 45	地方公務員法及び地方自治法の一 部を改正する法律の施行に伴う関 係条例の整備に関する条例の制定 について	会計年度任用職員制度導入に伴う一部 改正	有	全会一致で 可決
議案 46	成年被後見人等の権利の制限に係 る措置の適正化等を図るための関 係条例の整備に関する条例の制定 について	法改正に伴う一部改正	無	全会一致で 可決
議案 47	災害弔慰金の支給等に関する条例の 一部を改正する条例の制定について	法改正に伴う一部改正	無	全会一致で 可決
議案 48	御船町印鑑の登録及び証明に関す る条例の一部を改正する条例の制 定について	政令の改正に伴う一部改正	無	全会一致で 可決
議案 49	御船町特定教育・保育施設及び特 定地域型保育事業の保育料等に関 する条例の一部を改正する条例の 制定について	法改正に伴う一部改正	無	全会一致で 可決
議案 50	御船町放課後児童健全育成事業の 設備及び運営に関する基準を定め る条例の一部を改正する条例の制 定について	省令の改正に伴う一部改正	有	全会一致で 可決
議案 51	御船町公民館条例の一部を改正す る条例の制定について	上野分館の移転に伴う一部改正	無	全会一致で 可決
議案 52	熊本県市町村総合事務組合の共同 処理する事務の変更及び規約の一 部変更について	加入団体の追加に伴う一部変更	無	全会一致で 可決

議案 53	令和元年度御船町一般会計補正予算（第6号）について	総務費等に係る補正予算 補正後の予算総額 歳入歳出 12,002,716 千円	有	全会一致で 可決
議案 54	令和元年度御船町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について	総務費等に係る補正予算 補正後の予算総額 歳入歳出 2,348,034 千円	無	全会一致で 可決
議案 55	令和元年度御船町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について	諸支出金等に係る補正予算 補正後の予算総額 歳入歳出 2,088,656 千円	無	全会一致で 可決
議案 56	令和元年度御船町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）について	諸支出金等に係る補正予算 補正後の予算総額 歳入歳出 224,356 千円	無	全会一致で 可決
議案 57	令和元年度御船町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）について	総務費等に係る補正予算 補正後の予算総額 歳入歳出 638,670 千円	有	全会一致で 可決
議案 58	令和元年度御船町情報通信基盤施設運営事業特別会計補正予算（第2号）について	総務費に係る補正予算 補正後の予算総額 歳入歳出 90,238 千円	有	全会一致で 可決
議案 59	令和元年度御船町水道事業会計補正予算（第3号）について	水道事業費に係る補正予算 （収益的収入及び支出） 補正後の予算総額 支出 304,112 千円	無	全会一致で 可決
議案 60	第6期御船町総合計画の策定について	第6期御船町総合計画の策定	有	全会一致で 可決
議案 61	町道の路線廃止について	路線番号第28号 小坂八竜線	有	全会一致で 可決
議案 62	町道の路線認定について	路線番号第28号 小坂八竜線 路線番号第42号 小坂八竜2号線	無	全会一致で 可決
議案 63	財産の交換について	町道拡幅工事に伴う土地の交換	有	全会一致で 可決
諮問 1	人権擁護委員の候補者の推薦について	松岡秀明氏を推薦	有	全会一致で 可決
諮問 2	人権擁護委員の候補者の推薦について	米満速敏氏を推薦	無	全会一致で 可決



第6期御船町総合計画

議案第45号 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

福永議員 非正規職員の方々の採用形態が変わって、新たに会計年度任用職員になったが、今働いている方々に、どのような影響があるか。また、現在町職員の総数は何人で、正規、非正規、それぞれの割合はどうなっているか。

藤野総務課長 大きく変わるののは給与体系。これまで手当等の支給はなかったが、制度の移行により期末手当、通勤手当等が支給できるようになった。加えて、一定の期間、年1回の職務経験に伴う昇給が可能となった。

また、正規職員は208人、非正規職員は115人で、非正規職員の割合は、35.6%である。

福永議員 非正規職員に対する待遇が改善されることは喜ばしいが、一方で、民間に義務付けられている身分安定や障がい者雇用等に関する制度はない。公務員の数自体も国際比較や民間企業と比較すれば決して多くない。身分安定や雇用等に関し民間との格差が出ないように運用にあたってほしい。

藤野課長 今回、会計年度任用職員として雇用するが、その多くが非常勤、臨時職員として業務に当たっている。大変重要な人材だと考えているので、住民サービスの低下につながらないような運用、雇

用を考えていきたい。

議案第50号 御船町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

田上忍議員 町の放課後児童育成事業に何か影響するところはあるか。

田中こども未来課長 支援員の受講資格が明確化され、養護教諭も対象になるなど受講資格の拡大が図られた。

議案第53号 令和元年度御船町一般会計補正予算（第6号）について

ふるさと納税

中城議員 ふるさと納税寄附金が3.5億円増加だがどんな取り組みをしたのか。

坂本企画財政課長 募集外経費委託料を返礼品代に充て寄附単価を下げることができ、寄附が集まった。また、「森のくまさん」、「ヒノヒカリ」などを出したことで人気が集まった。

公営住宅ストック総合改善事業

井藤議員 公営住宅ストック総合改善事業とは何か。

島田復興課長 公営住宅の外壁改修、屋上防水、長寿命化計画などで公営住宅解体の効果促進を図るもの。

避難行動要支援者システム

井藤議員 避難行動要支援者システムとは何か。

西橋福祉課長 災害発生時の避難等に支援を要する方の名簿を作成するシステム。リース契約が2月で満了し無償譲渡を想定していたが、機器が劣化しているため更新を行う。

虹の大橋外灯取り替え

田上忍議員 広域農道の虹の大橋の外灯の付け替えとは何か。

井上課長 広域農道の虹の大橋の点灯不具合による照明器具の取り替えである。故障により欄干の照明器具がつかない。照明器具23台の取り付けから点検まで含めた附帯工事である。



外灯が消えている虹の大橋

マミコウロード

井藤議員 マミコウロードの調査とは何か。

井上農業振興課長 地方創生道整備交付金事業による広域農道の詳細設計。令和2年度に事業計画の提出、令和3年度に事業着手し、令和5年度に完了予定。

福本議員 食べる竹・使う竹・見せる竹生産支援事業とは何か。

井上課長 竹林整備に係る事業費で、事業主体は3戸以上で構成された任意団体。整備できる竹林は、0.1ヘクタール以上で事業完了後、3年以上継続してタケノコの生産・販売を行う事業。

内水被害対策は

森田議員 町道の工事請負費の説明を。

野口建設課長 町道荒瀬妙見坂線は6月豪雨で農業用水が

あふれ、町道に流れ込んだため、側溝の敷設替えを行う。

森田議員 団地の内水問題はどうか。

野口課長 公営住宅入居者の不安解消のために令和2年度予算で改善していきたい。

ふれあい広場にブルック像

福本議員 ワンピースブルック像の委託料の説明を。

作田商工観光課長 3月29日開催予定の除幕式関連である。楽器や音楽家の出演料等である。

藤川議員 ブルック像を設置する公園の復旧は5月に完成だが、3月に除幕式ができるのか。

作田課長 ブルック像設置場所は検討中であり復旧工事とは関係のない場所を想定している。

BBIQ 加入者増

福永議員 情報通信特会への繰出金が500万円ほど発生しているがこの理由は。

藤野課長 加入者増に伴う工事費の増額である。

防災備蓄センター竣工

福永議員 防災備蓄センターの工事はすべて終わったのか。

藤野課長 12月10日に建物の工事は完成した。今後の雨を考えた場合、下に用水路もあるので法面の保護をする必要がある。

宮川議員 防災備蓄センターの備蓄品等の準備はいつ行うのか。

藤野課長 地域防災計画の中に備蓄品の規定があるので、それを目標に順次整備を行っていく。

高速の工事用道路

宮川議員 足水地区16筆の不動産購入契約が整ったが農



ブルック像が設置されるふれあい広場



再利用が計画されているみんなの家

等を開いて、町民の意見を取り入れた施策を進めていきたい。

福永議員 未来社会(Society5.0)に対応した教育として、具体的な計画はあるか。

本田教育長 ハード面の整備から行う。プログラミング教育の導入にあたり、研修を行って今後に備える。

福本議員 「みんながわくわくする御船町」の「みんな」とは誰

道として管理するのか。

井上課長 農道として管理を行う。

全国大会等の助成金

福永議員 全国大会等出場助成金の説明を。

沖社会教育課長 全国大会が10件、九州大会が9件の申請があった。(別表参照)

みんなの家の再利用

田上忍議員 みんなの家の移設計画はどうなっているか。

島田課長 みんなの家の利活用を9月の嘱託員定例会で説明した。7地区から移築の希望が来ており、各地区との協議を進めている段階だ。他には学童保育施設として七滝中央小学校地区で使えないかという要望もある。

仮設住宅のエアコン再利用

田上忍議員 仮設住宅のエアコン等は再利用できないと前の議会で答弁があったが変わったのか。

島田課長 市町村で必要とあれば県を通じて払い下げできる。公民館でのサロン事業でエアコンがない場合、要望があれば設置も可能である。まずは各課の要望調査を行う。

議案第60号 第6期御船町総合計画の策定について

中城議員 実施計画の策定はいつ頃になるか。

坂本課長 令和2年2月末をめどに策定し、当初予算に一部反映させる。毎年見直して進捗管理を行う。

福永議員 実施計画も町民主体で作成できないか。

坂本課長 なるべく多く会議

のことが。

坂本課長 町民のこと。総合計画策定町民会議の中で出された町民の意見を踏まえ「誰もが将来への夢や希望を抱くことができる」という意味でこの将来像に決定した。

福本議員 総合計画をどのように住民に周知するか。

坂本課長 概要版を作成し配布する。町広報等でも一部分を掲載する。

議案第63号 財産の交換について

田上忍議員 コストコ進出までに何か大きな課題があるか。

坂本課長 施工業者が複数なのでスケジュール管理が課題。令和3年春のオープンに向けて、スケジュール管理を徹底する。

沖課長 文化財の試掘調査は

12月13日に終え、遺構、遺物等は見つからなかった。

諮問第1号 人権擁護委員の候補者の推薦について

福永議員 人権擁護委員の役割は何か。

藤野課長 さまざまな分野の人たちが地域の中で人権思想を広め、住民の人権を擁護していくために設けられた制度である。町が議会の意見を聞いた上で候補者を推薦し、法務大臣が委嘱する。人権擁護委員は住民から虐待やいじめ

など様々な相談を受け、人権侵害の被害者の救済を行ったり、地域住民に対し啓発活動をしたりする。毎月第3水曜日にひばり荘で相談に応じている。

別表 全国大会等出場助成金交付一覧（今年度分）

区分	大会規模	大会名	大会期間	助成金額(円)
個人	九州	2019九州小学生4年生テニス選手権大会	5/3～5/5	10,000
個人	九州	2019年度 第70回(末弘杯)全九州高等学校選手権水球競技大会	6/7～6/9	10,000
団体	九州	第21回西日本小学生ソフトボール大会	7/27～7/29	50,000
団体	全国	第24回全国ジュニアゲートボール大会	8/24～8/25	100,000
個人	全国	U-12 ジュニアサッカーワールドチャレンジ	8/29～9/1	20,000
個人	全国	第54回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会	8/5～8/9	20,000
団体	九州	第50回九州中学校サッカー競技大会	8/3～8/6	50,000
個人	全国	令和元年度全国高等学校定時制通信制体育大会第29回サッカー大会	8/2～8/6	20,000
個人	九州	第9回九州中学校テニス競技大会	8/3～8/7	10,000
個人	全国	令和元年度全国高等学校定時制通信制体育大会第29回サッカー大会	8/2～8/6	20,000
個人	全国	第16回全国小学生学年別柔道大会	8/11～	20,000
個人	九州	第9回九州中学校テニス競技大会	8/3～8/7	10,000
個人	全国	第42回(2019年度)全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	8/22～8/26	20,000
個人	全国	2019年度第43回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント	8/29～9/7	20,000
団体	九州	第41回九州ゲートボール大会兼第34回(公財)日本ゲートボール連合杯九州地域ゲートボール選手権大会	11/16～11/17	50,000
個人	全国	第95回日本選手権水泳競技大会オープンウォータースイミング競技	9/21～9/22	20,000
個人	九州	令和元年度第81回末弘杯全九州高等学校選手権新人水泳競技大会	9/28～9/29	10,000
個人	全国	2019年少林寺拳法全国大会 in あいち	11/23～11/24	20,000
個人	九州	第14回全九州高等学校ソフトボール秋季大会	11/16～11/17	10,000



Q人にやさしいまちづくりを進めるには

A障害者等を始め住民の意見を反映しつつ推進する

福本 悟 議員

人にやさしいまちづくりを進めていくには、ユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の推進が必要であるが、推進についてどう考えているか

藤木町長 御船町の地域福祉計画及び社会福祉協議会地域福祉活動計画に基づき、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう推進していく。

実績と取組み予定は

藤野総務課長 庁舎正面玄関横にスロープの設置や1階西側に多目的トイレ等を整備。令和2年度には、エレベーター設置を予定している。

町営住宅等トイレの現状と整備計画は
島田復興課長 令和元年度末で、全体の45.9%が汲み取り式。今後は、町営住宅等長寿命化計画に基づき水洗化していく。

通りにくい歩道の調査・改修は

野口建設課長 町中心部のシンボルロードで幅広い歩道の整備と併せ、視覚障害者誘導用ブロックの設置。また、道路パトロールにより、補修を行っている。

バリアフリー法の施行で、町がどのように変わったのか

野口課長 シンボルロードでは、歩道内

の歩行帯と自転車通行帯を分離した。また、町道の歩道一部にカラー舗装を用い歩行移動空間の確保を図った。

指定緊急避難場所等、車椅子で利用できるトイレの整備状況は

藤野課長 カルチャーセンターを含め4か所が利用可能。今後、利用できるように環境整備も進めていきたい。

福本議員 人に優しいまちづくりを進めていくには、ユニバーサルデザインやバリアフリー化の推進が必要であり、今後に期待する。

Q通学路の安全対策は、大丈夫か

A関係機関の協力をいただき、計画的な整備等に努める

通学路の現状から、交通安全に加え防犯の観点から安全対策についてどう考えているか

藤木町長 通学路安全点検を実施、計画的な整備に努める。見守りについては、交通安全協会、交通安全母の会、PTA等に引き続きお願いしていく。

通学路の安全点検で、改善が出来たところ出来なかったところは

西本学校教育課長 白線の引き直しや注意看板の設置などは改善が出来たが、大規模な道路改良が必要となるところは、改善が出来なかった。

スクールゾーンは、町には指定されていないのか

西本課長 スクールゾーンは、学校な

どから半径500m程度の範囲で一方通行など安全対策として指定する。交通規制等が必要であり、指定には至っていない。

防犯灯・街路灯及び防犯カメラの設置の必要性和設置状況は

藤野課長 必要性は感じている。防犯灯は、地域からの申請に基づき設置。防犯カメラは、条例等を早急に整備して今後整備していく必要がある。

御船警察署、学校、PTA及び地域とのネットワークは

西本課長 こども110番の家などの活用を含め、登下校時の交通安全や防犯について地域の皆さんに協力をお願いしていく。

防災行政無線を活用した子どもたちへの呼びかけは

西本課長 地域の皆さんの意見や、関係各課と協議を行い有効利用に努めていく。

福本議員 行政、地域及び学校がワンチームとなり、一歩でも先へ進んだ取り組みで安全対策を期待する。



国道に設置されている横断歩道

Q旧のんびり村進出の宗教法人関連団体の実態と現況

A行政は住民の不安を払拭する責任がある

田上 英司 議員



田上議員 宗教法人宝珠宗宝珠会の教祖はいかなる人物か、今は株式会社と言っているが何をもって宗教団体と言っていたのか。

坂本企画財政課長 宗教団体の概要・活動内容・教祖について町は説明する立場にない。

田上議員 宝珠会代表の娘婿が(株)G&Mの代表であり、役員は同じ。佐賀・長崎で裁判係争中の団体である。社名変更されてもカモフラージュで中身は一緒ではないか。(株)G&Mはどういう仕事をしている会社なのか。

坂本課長 現地は、木の伐採、植樹をされて自然公園のような景観となっている。

田上議員 平成26年12月に御船町に伐採及び伐採後の造林の届け出が出ているが開発の許可申請は出ているのか。

坂本課長 同会社による旧のんびり村一帯についての開発許可申請は今まで提出されていない。

田上議員 この団体が進出した時、35万平方メートルの土地であったが、現在増えているはず、どのくらい増えているのか把握しているか。

坂本課長 この面積に関しては全く増えていない。

田上議員 現地である御船町田代

7168番地への住民登録はされているか。

坂本課長 一名の住民登録者がいる。

田上議員 4年8ヶ月前の町の選挙時もあり問題視され田代東部6名の区長による「吉無田が危ない」という署名運動や議会もおおぞら会議をされている。さらに上野・上田代地区農業委員2名も加わり、当時の議長あて緊急対策の陳情書が出され採択されている。どのように処理されたのか。

坂本課長 当初は町独自で景観条例を作る予定だったが国と相談し、現在は里地里山法を活用した取り組みに着手している。

田上議員 平成26年12月には田代東部地区の6名の区長に加えて、当時の田端議員・井本議員の紹介による請願書も出され、また反対運動のチラシ・パンフや行政への不作為に対する誹謗中傷もあり、町は行政報告書をもって対応、町は住民の声を第一に現地の開発行為を強く反対するという強い気持ちであったが、この気持ちに変わりはないか。

坂本課長 行政には住民の不安を払拭する責任があり、情報の発信は重要である。現在3ヶ月に一回嘱託員定例会の前に関係者に対し情報提供をしている。

田上議員 以前、議会の答弁で定期的

な監視活動をするにあつたが、現地にどう変化があっているかと監視活動の情報開示請求を住民がされた場合、情報開示できるか。

坂本課長 今、2ヶ月に一回現地の調査を行っている。開示請求等があれば回答する。

田上議員 情報を発信することは非常に大切である。本当に御船町の水は枯渇しないか。

緒方環境保全課長 この地区は吉無田水源の下流域にあり、旧のんびり村はボーリングで採出されている。吉無田水源というのは山からの湧き水であり、水脈自体が違っている。

田上議員 平成27年2月町議会も全員一致で開発反対を議決している。調査や監視を怠ってはならない。住民へ現状を情報発信して不安を解消することが喫緊の課題である。町の広報紙等をもって定期的に「今はこうなっている」・「絶対開発はさせない」・「町の水は枯渇しない」等情報発信をして頂きたい。この情報発信は住民に安心を与える安心・安全のライフラインである。

藤木町長 吉無田は御船町の大切な宝であり、一丸となって守っていききたい。

Q天皇陛下御即位奉祝への取組について

A適切に対応していく

田上議員 本年は天皇陛下の御即位を慶賀すべき年である。皇室の伝統と国民の絆を深めるということで、若い世代の方々ははじめ多くの住民に伝えていくため天皇陛下の御即位をお祝いするという気持ちをもって、役場庁舎前に「垂れ幕

をして日本国民たる御船住民として祝意を表したらいかがか。他町村がしてなくても御船町が率先して積極的に日本国民たる祝意を表して頂きたい。

藤木町長 御船町では平成31年4月2日付けで総務省から御即位当日に国旗

掲揚等の取組についての協力要望があり、国旗を掲揚するとともに祝意を示すことができるよう記帳場を開設した。今後も国からの協力要請に応じて適切に対応していきたい。

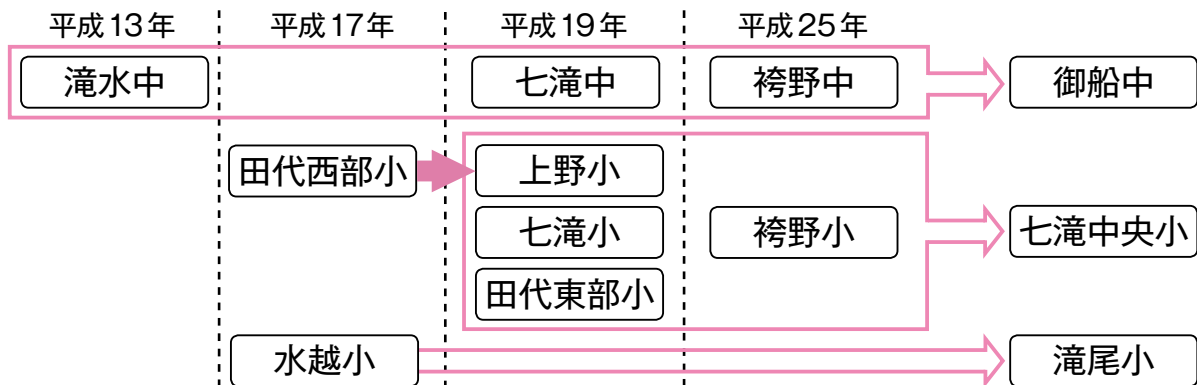


Q旧小中学校をどう活用するか

A地域のコミュニティ拠点として活かすことが重要

井藤はづき 議員

これまでの統廃合の経緯は？



現在の施設の状況と維持管理はどうなっているか？

西本学校教育課長 旧袴野小中学校の体育館は地域に開放していたが昨年度から中止されている。

沖社会教育課長 旧水越小の校舎は社会教育センターとして、体育館は地域のイベントなどに使用している。旧七滝小の校舎は地震により半壊し、化石や文化財遺物などの保管場所としてのみ使用している。体育館は地域イベントやスポーツ活動に利用されている。旧田代東部小（体育館）は、秋の敬老会の他アーチェリー協会の練習場として使用されている。

地元地域に鍵の管理や草刈りを委託し、施設の補修など

は教育委員会に対応している。
藤野総務課長 旧七滝中は平成22年から介護施設として、旧田代西部小は平成19年から社会福祉施設として利用されている。旧田代東部小（校舎）は平成22～30年まで学童保育等施設に利用されていたが現在は利用されていない。

旧田代東部小（校舎）の利用の要望はあったか？

藤野課長 これまで2件の相談があった。1つは民間企業から通年で事業所としての借用の相談。営利企業へ有償で貸出す条件の整備がされていなかったのが断念した。もう1つは、商工会青年部から小学生対象のイベント会場として2日間の借用の相談。使用条件の検討や手続きに時間がかかり、時機を逸したため利用に至らなかった。

有償で貸出しはできるか？

藤野課長 学校施設の

活用は文部科学省との協議が必要。起債の償還は完了しているが、処分制限期間内のため国庫交付金以上の基金積立が必要となるので難しい。

短期の利用への対応は？

藤野課長 文部科学省との協議が必要なので、手続きに3～4か月かかる。できるだけ使いやすい方法で対応したい。

今後の活用について町としてどう考えているか？

藤野課長 学校施設は地域のシンボリックな存在なので、できるだけ地域コミュニティの拠点として活かすことが重要。分館の活用と一体的に検討する必要もある。「お伺い行政」の実践として地域に出向き、住民と協力して利活用を考えたい。

具体的な計画があれば「閉校施設及び遊休施設等利用検討委員会」で利用内容や維持管理、改修費用などについて協議する。



旧袴野小中学校の体育館は昨年度から使用中止となった

Q 下水道整備計画の問題点等、町が長年抱える課題解決のめどは？

A 復興計画年度内に解決を図る

福永 啓 議員



下水道の課題解決は？

福永議員 下水道計画区域とはなっているが、まだ下水道が敷設されておらず、具体的敷設計画もない地域も多い。そのような地域では長年にわたり合併浄化槽設置の補助金がなく、住民は全額自己負担を強いられている。一方で、そのような地域に実際下水道を敷設したとしても、費用対効果が極端に悪い地域が多く、今でも赤字である下水道会計の赤字がますます膨らみ、町財政に悪影響を与えることが懸念されると共に、すでに合併浄化槽があるため下水道につながらない住民に対しても、面積に応じて負担金が生じる。このように下水道は長年、矛盾するようないくつかの大きな課題を抱えているが、いつかは誰かが決断し、解決を図らなければならない。

藤木町長 復興期の中で、短期的、中期的、長期的にできることを見据えながら、最終的には私の判断で行っていききたい。

光ファイバーの民間譲渡課題は？

福永議員 5Gの登場等もあり、ICT・IOT環境は今後劇的な変化が想定される。光ファイバー網の民間譲渡交渉においては、条件等、前例にとらわれることなく、多様な

可能性を以て交渉にあたってもらいたい。

藤野総務課長 議員の指摘を念頭に置きながら、今後譲渡についての協議・検討を進めていきたい。

町民主体のまちづくりで観光産業育成を

福永議員 観光産業を育成し、観光客を誘致する事は、結局まちづくりそのものではないか。観光産業自体が全くなかったが、今では年間100万人を超える観光客が訪れる長野県小布施町では、「住民の自由な発想を支援し、サポートすることが行政の役割であり、住民にそれが自分たちの成果だと感じさせることが最も重要」という考え方の下、「これからは行政が主導するのではなく、住民の自発的な動きを一貫して後方で応援する、住

民のサポーターになる」とする町づくりが行われてきた。参考にすべきではないか。

藤木町長 小布施町の仕組み、町民主体のまちづくりには大変感銘を受けた。この住民主体のまちづくりというものを見倣いながら、町としても観光産業につなげていきたい。

公共交通網の整備はいつまでに、どのように行うのか

福永議員 次世代の公共交通網についてどのように考えるか。

坂本企画財政課長 県内では、芦北の道の駅で無人バスの実証実験がされているが、それを含めて、あらゆる方法を考え、今回の復興期間内の令和5年度までには、一定の方向性を示したい。

町が長年抱えてきた 課題解決を復興期内に！





Q熊本地震からの復旧状況は

A今年度中の完了を目指している。

田上 忍 議員

田上議員 道路関係の詳細な説明を。

野口課長 495件を発注して完了の件数が484件、今年度内の完了を進めている。

田上議員 木倉のオアシス前はどうかっているか。

野口課長 通常の道路維持修繕で業者に依頼をしており早急に対応する。

田上議員 粒麦で災害復旧した後、急斜面になり危険だがどうするか。

野口課長 車輛の通行の安全性を確保する必要があるので地元区長と協議を踏まえて対応する。

田上議員 粒麦から水越へ行く道路が傷んでいるが。

野口課長 横野矢部線から集落までは、路面の状態がよくない。補修ができるところは補修、道路改良を年次計画等立てて対応していく。



災害復旧後、急斜面になり危険な粒麦の道路

田上議員 農地災害で復旧していない箇所はどれだけあるのか。

井上課長 年度内の完了は

少々厳しいが、町全体の工事件数も多く、また作付などの営農期間や出水期間、いわゆる水田の場合は稲刈りが終わり次第施工なので施工期間が制限される状況の中、また難工事もあるが、今年度中の完了を目指し施工管理を進めている。

田上議員 一部の業者に委託が集中して遅れているのではないか。

井上課長 入札は公平・公正でありそのような認識はない。

田上議員 増見鶴地区で災害復旧後に地盤沈下している箇所の対応は。

井上課長 7月25日に現場に出向き水田所有者4～5名の方と確認を行った。これは表土の確保が第一段階だと考え、コストコの店舗造成工事に伴う水田の表土部分を譲り受けできないかお願いしている。

田上議員 他の対応は考えているか。

井上課長 その他事業でも表土を譲り受けできないか県も絡めて動いている。

野中副町長 県とのパイプ役として精いっぱい御船町のために頑張っていく。

田上議員 個人負担はどうなる。

井上課長 増見鶴地区までの運搬は無償で、各ほ場への運搬は持ち主と考えている。その他も1回被災して再度被災

した農家には二重の分担金の支払いを軽減できるように協議している。

通学路の安全確保状況は

田上議員 各学校から報告されている危険箇所の対応は。

西本課長 対応が済んでいるのは下辺田見地区妙見坂トンネル内の照度を上益城振興局土木部にて明るくした。北木倉地区国道443号線から鶴亀橋へのインフィニティー横の階段に手すり設置を上益城振興局土木部にて対応した。

国道445号と県道が交わる横野橋北側交差点内の横断歩道の白線の引き直しは今年度内に行う予定。

県道田代御船線の染野地区はカーブが多く危険なのでカラー舗装を行う予定。

田上議員 町道南木倉線でバイクが落ちたと聞いたが復旧はいつするのか。

野口課長 路肩注意の杭とロープが張ってあり道路維持修繕を年度内に対応する。

田上議員 通学時間帯にイノシシが歩いていたと聞いたがこのようなときはどうする。

西本課長 地域の方がイノシシやサルを見つけたときには、教育委員会に御一報をいただきその都度、学校に連絡をして各保護者に安全メール等を通して知らせている。

Q 一億総活躍社会に向けた御船町の取り組み

A 高齢者等の経験・技術を活かした活躍の場をつくる

増田 安至 議員



増田議員 一億総活躍社会に向けた御船町の取り組みは？

藤木町長 2025～2040年に向けて、全国的に人口が減少し高齢者の割合が増加する。高齢者の自立支援、重度化防止等に取り組む。国からの財政的インセンティブ（交付金）が創設される予定。

増田議員 具体的な町の取り組みは？

本田健康づくり支援課長 健康づくり推進協議会で上益城地域の働く世代の住民健康に関する現状・課題報告、健康づくりに関する取り組み、健診・保健指導・健康セミナーなど情報共有している。

増田議員 町の課題は何か。

本田課長 肥満や生活習慣病を予防する事。

増田議員 年間いくらかかるか。

本田課長 令和元年度で270万円

増田議員 シルバー人材の活用は？

西橋福祉課長 人材センターには60歳以上が登録（97名）し、H30年度の受託事業収入は約5,300万円（町から事業費が235件で約1,780万円）。主業務は、学校給食の配送、町営公園の管理・除草作業、緑

の村リフト運行、町道や天君ダムの除草作業、町営住宅等の洗面台・トイレ修理、床・壁紙の張り替え、建具調整など。高齢者の方のこれまでの経験や技術が活かされる就労の場となっている。



Q 高齢者の活用は？

A 町独自の「わくわくプロジェクト」をスタート

増田議員 高齢者の免許返納は。

藤野総務課長 手続は運転免許センターや各警察署で行う。丁寧に広報を行う。

坂本企画財政課長 上益城郡内では、山都町が自主返納者に対する助成制度を設けており、70歳以上で自主返納すると、1年間の町内バス無料乗車券か、タクシー利用券24,000円分が1回だけ交付。嘉島町は75歳以上の全町民

に年間1万円のバス乗車券又はタクシー優待乗車書を交付。また県内のバス6事業者で65歳以上の方に運賃半額割引サービスを実施。今後、第6期町総合計画で、わくわくプロジェクトを展開する。

西橋福祉課長 福祉課では、中山間地域の交通空白地帯で65歳以上の方を対象に、認知症予防教室で送迎以外のプログラムとして、買い物ができるようになる。

増田議員 人口減少時代に向けた御船町の未来は。

藤木町長 人口減少を抑制して地域活性化につなげようというのが地方創生の出発点。本町ではコストコ誘致を1つの起爆剤として戦略的に他業種含む企業誘致を積極的に進め、地域の波及効果につなげる。コストコには年間約150万人の来客が想定されている。その1割が町内を回遊し多くの経済波及効果が期待できる。



Qふれあい広場の公園復旧はいつか？

A令和2年5月に完成！

藤川 博和 議員

木造仮設住宅の活用は

藤川議員 木造仮設住宅をそのまま利用するとの事だが、最近マスコミ等で日奈久断層帯のひずみが蓄積し、熊本地震と同等の地震が確実に起こると言われているが大丈夫なのか。

島田復興課長 木造仮設住宅は耐震基準を満たしており、震度6強から7に達する程度の揺れにも倒壊・崩壊しない。

藤川議員 災害公営住宅には、地震被災者以外でも入居できるのか。

島田課長 災害公営住宅は、当面は被災者を優先的に入居させ、今後すべての被災者の再建が完了した後に空室が出るようであれば、住み替え先としての活用や、一般公募も実施していく。

広場の公園化

藤川議員 ふれあい広場第一

仮設住宅の解体はいつになるのか。具体的にいつ公園に復旧できるのか。

島田課長 ふれあい広場第一仮設住宅については、3月中には仮設住宅の建物自体は撤去する予定だが、芝張り等の原状復旧については4月以降になる見込みである。

公園としての復旧は令和2年5月になると考えている。

町有地の確保は

藤川議員 NHKで、日奈久断層による直下地震が近日中に起こる可能性があるとの報道された。

町はやっと仮設住宅の解体が完了する状況になったが、熊本地震と同程度の地震が今後発生した時、町に仮設住宅建設の用地はあるのか。

藤木町長 町内において個々の災害に備えるという部分も、これからの私たちの役目だと

思っているので、備える上での土地の確保というのは、今後考えていかなければならない。

内水氾濫対策は

藤川議員 ふれあい広場周辺で内水氾濫が起きている。

10月に陳情書も提出されている。辺田見山からの多量の水と、周辺開発による雨水の排水が原因と考えられる。

対策として、ふれあい広場の奥の農地を内水氾濫防止の調整池用地として活用できないか。

藤木町長 辺田見地区から西往還にかけての水路関係、内水被害が起こった為陳情があったものを解決するために今調査中である。

ふれあい公園あたりが一番低いところにもなるという話も聞いているため、何かしらの施策を打つ中において検討させていただきたい。



熊本地震前のふれあい広場

Q 中山間地域の移住定住施策は

A 移住コーディネーターを配置し、移住希望者への対応を行っている

宮川 一幸 議員



中山間地域における移住定住施策について

宮川議員 御船町人口ビジョンでの人口減少の推移は

坂本企画財政課長 平成27年12月に策定した御船町人口ビジョンでは、2060年度には人口が1万3,374人と想定している。また、2030年度には、中山間地域の人口は2,842人と想定し、人口ビジョンを策定した平成27年度の人口4,063

人と比較すると、1,200人の減少と見込んでいる。

宮川議員 移住・定住について、町はどのような人口減少に対する施策を行ってきたのか。

坂本課長 国の移住施策である、地域おこし協力隊の導入や、空き屋バンクの設置。また、町内にお試し移住ハウスを設置し、移住・定住のホームページも開設した。移住コーディネーターを配置して、移住相談

会にも参加し、移住希望者への対応を行っている。

宮川議員 上野吉無田周辺の道路整備で吉無田につながる県道田代御船線の整備は。

藤木町長 単県事業要望を毎年行っている。上野吉無田インターを下りてから吉無田までに、バスが今では通れないのを通したいというのが、今後5年間の私の役目だと思っている。

Q 中山間地域の農地保全対策は

A 鳥獣被害対策と小規模な圃場整備の実施を検討

宮川議員 鳥獣被害対策で、生態系を熟知した専門指導員を町に配置を。

井上農業振興課長 専門的知識を持つ指導員を配置できれば、鳥獣に対する正しい知識の伝達及び進入防止策の効果的な設置方法、また、地域ぐるみで餌づけストップを実践する方法など、地域巡回指導が可能となる。深刻化している農作物被害を最大に抑止でき、特に被害が大きい中山間地域の農業生産の向上につながるので協議を進める。

宮川議員 ほ場整備ができなかった農地が遊休荒廃地や耕作放棄地にならないため、昔でいう狭地田せまちだのような、小規模な圃場整備事業を行い、中山間

地域の農地保全を行っていかねばいけないと思うが。

井上課長 県営事業等の大規模な整備事業の要件に該当しない農地をどのように活かしていくか、また、どのようにして優良農地を増やしていくかが重要なことと考え、まずは小規模な整備、狭地田に係る助成を単独で支援する。このことにより小規模な団地が形成され、農作業の効率化、農業生産の向上にも大きくつながり、かつ耕作放棄

地の発生抑止も見込まれるので、内部での検討を進める。

藤木町長 中山間地域にはこういったほ場整備を含めて荒廃農地を極力少なくしながら、離農される方がないように、努めていく。



中山間地の棚田

かがやく



1丁目
栗崎誠二さん

ふるさとに恩返し

本年度、御船中学校のPTA会長を務めております。今まではあまり熱心な活動はしておりませんでしたが、これも良いタイミングだと思い、自分なりに頑張っています。周りの皆さんの支えもあり、充実した活動ができています。同時に消防団の第一分団長も務めており、約八十名の団員と日々防災活動や訓練に励んでいます。

自分の生まれ育った地域に少しでも恩返しできるよう、微力ながら努力していこうと思います。妻や五人の子ども達に支えられながら、何事にも楽しく、誇りを持って向かっていけば、自分や周りの方たちも成長できると信じています。

故郷や子ども達は地域の宝です。地域の皆さんで育てていきたいと思います。今年も良い年になりますように。



編集後記

そもそも議会広報誌とは何のためにあるのだろうか。どんなに努力して充実した議会広報誌を作成しても、多くの町民の方々に読んでいただけないのならば、そもそもの役割を果たしていないのではないだろうか。

私も議員になって再認識したが、議会では、町民の方々の生活に密着した大変重要なことが次々と決められている。

しかし、多くの町民の方々はその現実があまり届いていないように感じている。

やはり議会広報誌は、できる

議会広報編集特別委員会

発行責任者	池田 浩二
委員長	井藤はづき
副委員長	田上 忍
委員	藤川 博和
委員	福永 啓
委員	森田 優二
委員	田上 英司

ただ多くの町民の方々に読んでいただきたいし、読んでいただけないと困る。

「議会広報誌購読率向上！」が現在私の中では最優先事項となっている。

福永 啓

議会の予定 2月

5日	議会アドバイザー研修
7日	全員協議会
10日	南関町議会視察受入れ
13日	議会(予定)
14日	佐賀県基山町議会視察受入れ
	県議長会定期総会
18～19日	産業厚生常任委員会視察研修
20日	議会独自研修
27～28日	総務文教常任委員会視察研修



議会 HP はコチラ